

昭和五十一年七月三十一日の手紙

『拝啓、早いもので、先生の御親切な御指導を賜るようになって、三年目の夏が来ました。愛子もその後、色々な面に徐々にしっかりしてきた今日このごろ、家内共々喜び感謝しております。ありがとうございます。

さて、愛子の現況をお知らせしますので、またお手数をわずら煩わしますが、よろしく御指導をお願い申し上げます。

(一)“漢字ゲーム”は、今日現在で三六七枚になります。一枚々々読ませてみますと、一割くらい読み違えたり読めないカードがありますが、他は正しく読みます。読んでカルタ取りのように取らせると、ほとんど取ります。

新しい単語を、順次、ゲームに入る前に教えて、言葉として使えるようになったものから、ゲームに入れてやっています。毎日、欠かさずに、親子ともどもがんばって行なっています。

文の読み方は、漢字かな混じりの短文であれば理解できるのですが、少し長文になりますと、読むことは読めるのですが、文を理解す

る力がまだまだです。文が読めるようになった現在、文を理解する力をつけるためには、どのような指導を行なってやったらよろしいでしょうか。教材があれば、送って頂けましたら幸いです。

(二)書く力は、毎日欠かさず、二ページずつ練習させています。手の運動が、次第によく動くようになってきたように思います。

平がなの単語は、大体書けるようになっておりますが、文として書き表わすことは、まだ上手にできません。漢字は、一年の国語の『上』の本の字は、全部書けるようになってきました。

文を書く力をつける指導方法と、美しい字を書かせるための教材等がありましたら、お願い申し上げます。

(三)算数。四月から長男が通っている“公文式数学教室”に、愛子も一緒に行きたいと言いますので、何か学んでくたさうと思って行かせております。毎週、月、金の各一時間、幼稚園児から中三の子供までが学んでいる教室です。ようやく10までの足し算が出来るようになってきました。

(四)聞く、話す力は、徐々に進歩はしているものの、まだまだの感がします。しかし、学校であったことを、家で思い出して話ができるよ

うになり、口数も多くなってきたので喜んでいきます。

(五) 図画。漢字も平がなも上手に書けるまでに手先の力がしっかりしてきたのに、なぜか絵は上手に描けません。現在、興味、関心を引き超えようとして努力しておりますが、何か良い指導方法はないでしょうか。

(六) 体力は、毎日の登下校の往復五キロの徒歩で、体力がついたように思っています。病気することもほとんどなくなり、非常に元気です。

(七) 学校は、社会性をつけることでは良いものの、知的面の学習が少なく、主として、NHKの教育テレビを見ている時間が多いようです。

一年下の、現在一年生の普通教室に入り、同じ仲間としてやれないかと、担任の先生と話し合っているのですが、まだまだいろいろな面で力不足のようです。早い機会に、普通教室の仲間に入れるようにしてやりたい、と思っておりますが.....。

しかし、この一年の間に、いろいろなことができるようになってきたのを喜んでおります。

(八) 学校の一年、二年の通知表のコピーを同封しますので、先生

が見られての今後の指導のポイントなど、お感じになられたことをお教え願います。また、二年の通知表の、性格・行動の特記事項の点は、家庭でどうしてやるのがよろしいでしょうか。

以上、御多忙のところ恐縮ですが、よろしく御指導をお願い申し上げます。
敬具